

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ		学年・必修	2年	必修	使用教科書	『VISTA English Communication II New Edition』(三省堂)			
	単位数			4		使用副教材	『英文読解入門10題ドリル』(敬文堂) 『ユメリス 夢をかえなえるリスニング1』(アルク) 『Leap Basic』(敬文堂)			
学習目標	<p>● 外国語によるコミュニケーションにおける発音・考え方を働かせ、外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」の言語活動及びこれら結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る基礎的な資質・能力を身に付ける。</p> <p>● 物事に関する紹介や対話や説明・物語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえ、それに基づいて情報や考えなどについて話し合ったり、意見を交換したり、簡潔に書くことができる。</p>									
学習方法	<p>● 基本的にAll Englishで授業を行います。</p> <p>● 英語は自分で考えながら話して、書いて、読んで、聞くことで、学ぶことができます。たくさん間違えて、たくさん学びましょう。</p> <p>● 英単語はインプット(覚える)とアウトプット(確認する)を何度も繰り返して覚えましょう。継続は力なりです。</p> <p>● 英単語や英文の意味は和訳するのではなく、英語で考え英語で説明できるように意識した方が、効率よく英語を吸収できます。</p> <p>● 文法は定型文を暗唱し、なぜそうなのかを構造的に理解することで、より深い知識を身に付けることができます。</p> <p>● 発表する際は、原稿を丸読みのままではなく、話す内容を理解し、流れや要点を押さえて自分の言葉で発表できるようにする癖を意図して付けることで、英語のスピーキング力が飛躍的に上がります。</p> <p>● スタディアプリを活用して、苦手問題を克服したり、検定対策をしたり、大学入試に備えましょう。</p>									
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の項目			評価方法		割合(%)		
	a	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	1	振り返りシート、授業態度	授業への取り組み具合で評価します。	5			
	b	外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	2	発表の成果	スピーチ、ディベート、ディスカッション等活動のパフォーマンスを評価します。	25			
	c	外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	3	考査、小テスト	概要を把握する力、詳細を把握する力などを主に考査で評価します。	45			
d	言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	4	小テスト、考査	英語の運用の下支えとなる知識やその理解を主に小テストで評価します。	25				
単元・単元	単元	単元評価の観点や評価する学習目標の項(単元評価を行う場合はその内容)								
L.10 Ethical fashion	総合的な探究の時間	コミュニケーション英語Ⅱでは、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合う力の育成を目指している。前おしワークショップ等のプレゼン等の機会でのその能力を活用できる。								
月	単元名(教材)	配当時間	学習の目標・ねらい	学習評価				学習内容と学習のポイント	身に付けられるOkushirety 5.0	
前期	4	1. 自己紹介・シラバスの確認 2. 習熟度クラス分けテスト 3. Lesson 1 Birthdays, Here and There	1 2 3	1. 自己紹介し、質問できる 2. 熟読度を確保できる 3. 名詞節を理解し、活用できる。	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	1. 自分を表現する機会をまとめておきましょう。 2. 自分の伸びしろを確認しよう。 3. 名詞節を理解し、活用できる。	デザイン力
	5	1. Lesson 2 The Emerald Isle 2. Lesson 3 The Sagrada Familia	6 7	1. 日本や奥所の文化をグラフやデータを活用してポスタープレゼンテーション形式で説明できる。疑問形、比較級や同等比較構文、現在分詞、過去分詞を理解し、活用する。	○ 2	○ 3	○ 4	○ 4	自国の文化や食べ物を紹介する機会をデータやグラフを用いてポスタープレゼンテーションする機会設けますので、それを表現するための語彙や表現を整理しておきましょう。文法を理解して、表現につなげましょう。	自己管理能力
	6	Lesson 4 Novel Prize Episodes Lesson 5 Flowers in the Tomb	10	歴史に関わる時系列がカギとなる英文を理解する。動詞不定形や関係代名詞whatを理解し、活用する。	○ 1	○ 3	○ 4	○ 4	時系列を意識しながら、正確に英文を理解する方法を学びます。時制や文脈を適切に捉え、書き手の意図を捉える姿勢が必要で。	情報活用能力
	7	Lesson 5 Baobabs in Madagascar	10	自然環境を題材にしたディスカッションを行うことができる。不定詞を理解し、活用することができる。	○ 2	○ 1	○ 3	○ 4	ディスカッションをする機会設けますので、それを表現するための語彙や表現を整理しておきましょう。文法を理解して、表現につなげましょう。	チーム力
	8	Lesson 6 Becoming the Best	10	インタビューをしてエピソードを引出すことができる。関係副詞を理解し、活用することができる。	○ 2	○ 1	○ 3	○ 4	インタビューをする機会設けますので、それを表現するための語彙や表現を整理しておきましょう。文法を理解して、表現につなげましょう。	ひらめき力
	9	Lesson 7 The Galapagos Islands	12	奥島島の中で世界遺産として知られる美しい島の良さを伝えるプレゼンテーションを行うことができる。現在完了や形式目的語構文を理解し、活用することができる。	○ 2	○ 1	○ 3	○ 4	プレゼンテーションをする機会設けますので、それを表現するための語彙や表現を整理しておきましょう。文法を理解して、表現につなげましょう。	当事者意識
	10	Lesson 8 Shodo, Old and New	12	日本文化を伝えるブログを英語で書くことができる。部分否定や受動態を理解し、活用することができる。	○ 2	○ 1	○ 3	○ 4	まとまりのある英語を書く機会設けますので、それを表現するための語彙や表現を整理しておきましょう。文法を理解して、表現につなげましょう。	実践力
	11	Lesson 9 Water World	12	歴史に関わる時系列がカギとなる英文を理解する。非制限用法の関係代名詞と現在完了受身を理解し、活用する。	○ 2	○ 1	○ 3	○ 4	時系列を意識しながら、正確に英文を理解する方法を学びます。時制や文脈を適切に捉え、書き手の意図を捉える姿勢が必要で。	デザイン力
	12	Lesson 10 A Long Friendship	15	歴史に関わる時系列がカギとなる英文を理解する。仮定法過去完了や仮定構文を理解し、活用する。	○ 2	○ 1	○ 3	○ 4	時系列を意識しながら、正確に英文を理解する方法を学びます。時制や文脈を適切に捉え、書き手の意図を捉える姿勢が必要で。	感受性
	後期	2 3	英文購読	30	ニュースや本の一節を読み、理解する。また、自身の感想を英語で発表する。	○ 2	○ 1	○ 3	○ 4	授業で培った英語力を初見でどれくらい対応できるのかを試します。普段からの英語の学習習慣が現れるところで。出会った知らない単語やフレーズは覚えおきましょう。
7 11 2		スピーキング演習	8	与えられた題材について自分の意見を即興で述べるることができる。	○ 2				聞かれた題材について即座に自分の考えをまとめ、理由やその根拠を述べるることができる。	レジリエンス力
6 10 1		ライティング演習	3	一定の題材について、「つながり」と「まとまり」のある英文を書くことができる。抽象と具体、接続詞の使い方を理解し、自身のライティング能力を向上させる。	○ 2				パラグラフライティングをする機会設けますので、論理の流れを言葉で表現できるように語彙や表現を整理しておきましょう。文法を理解して、表現につなげましょう。	課題発見力
4 ~ 3		ユメリス1	毎レッスン15分程度	英検準2級レベルの音声を読み、内容を把握できる。	○ 1	○ 2			英検準2級レベルの音声の内容把握、書き取り、音読を行う。	ひらめき力
4 ~ 3		ディスカッション	毎レッスン15分程度	与えられた題材について自分の意見を述べたり、役割に応じてロールプレイを行うことで、ディベートにつながる基礎力を養う。	○ 1				発表の後は、振り返りの時間をとることがあります。言えたこと、言いたかったけど言えなかったことをメモし、頭へることで少しずつ話せる英語が増えていきます。	完遂力